

~佐北の輝き~



六月三日、爽やかな初夏の風が吹き抜ける諫早市の長崎県総合運動公園陸上競技場にて、第五十七回長崎県高等学校総合体育大会の開会式が盛大に行われた。暑い日射しのもと、県下九校が集まり各学校とも力強い行進で入場した。

我が佐世保北高の行進は毎日の稽古み、放課後の練習の成果が十二分に發揮され、他の学校を寄せ付けない誇りあふれる、圧倒的な入場行進であった。

式では県高等学校体育連盟の石井勝典会長が皆さんの素晴らしい「力と技」と『熱い思い』で感動の下を期待しています。』と

佐世保北高新聞が、長崎県新聞コンクールで昨年の整理賞に続いて努力賞を受賞した。表彰式は長崎新聞本社で行われた。最優秀賞は西陵高校が受賞し、五年連続の受賞となった。

我々の北高・北中新聞も、伝統を受け継ぎながらも進歩の精神を持って、さらによい学校新聞を作っていく

高校が受賞し、五年連続の受賞となつた。

我々の北高・北中新聞も、伝統を受け継ぎながらも進歩の精神を持つて、さらによい学校新聞を作つていきたい。

佐世保北高はテニス団体

女子が準優勝、テニス団体男子が準優勝、ハンドボール女子が準優勝、ハンドボール男女、空手男女が3位に入りました。個

射撃など多くの選手が九州大会、そしてインターハイの出場権を得るなど、佐世保北高の選手が大活躍した。

この会では、見出しのつけ方、面の作り方、写真の撮り方などをについて新聞集まつての研修会が行われ、我々佐世保北高新聞部も参加した。

八月二十三日、長崎新聞社で県下の高校の新聞部が集まつての研修会が行われ、我々佐世保北高新聞部も参考にさせてもらつた。

この会で学んだことを十分に行かし、校外の出来事にも目を向けてより充実した新聞を作つて行きたいと

佐世保北中高新聞



発行所
〒855-0028 佐世保市八幡町6-31
長崎県立佐世保北高等学校
生徒会新聞部
編集人 北高新聞編集局
印刷所 印刷所

2面
・中体連取材日誌
・高総体・中体連結果



六月三日（金）

六月三日に開会式が行われた県高総体は翌日四日から長崎県下各地で各競技が行われた。最優秀賞は西陵高校が受賞し、五年連続の受賞となつた。

我々の北高・北中新聞も、伝統を受け継ぎながらも進歩の精神を持つて、さらによい学校新聞を作つていきたい。

佐世保北高はテニス団体

女子が準優勝、テニス団体男子が準優勝、ハンドボール女子が準優勝、ハンドボール男女、空手男女が3位に入りました。個

射撃など多くの選手が九州大会、そしてインターハイの出場権を得るなど、佐世保北高の選手が大活躍した。

この会では、見出しのつけ方、面の作り方、写真の撮り方などをについて新聞集まつての研修会が行われ、我々佐世保北高新聞部も参考にさせてもらつた。

この会で学んだことを十分に行かし、校外の出来事にも目を向けてより充実した。

この会で学んだことを十分に行かし、校外の出来事にも目を向けてより充実した。

今日は高総体の競技初日だ。

今日は高総体の競技初日だ。

佐世保北高新聞部は長崎市

決勝リーグ、初戦は長崎商

業と当たり勝利を收め、二

回戦に進出した。二回戦は

長崎西と当たり、実力が伯

利し二回戦に進出した。女

子の初戦の相手は長崎西。

結果では敗れてしまったが、

非常に善戦していた。次に

向かつたのは長崎高、到着するところよどラグビー

の試合が始まつたところだ

った。相手は佐世保南高校。

我が北高が圧倒的なスピ

ドで連覇を狙つ西陵高校。

相手は連覇を狙つ西陵高校。

試合はとてもスピード感あ

る。

文武両道を実践する上で、困難を乗り越える苦しみに

相当するだけのものは十分

手に入るはずだ。

走・800m走の二種目で優勝。山口君は5000m走で優勝し、円盤投げは橋本さんが優勝し、それぞれ北九州大会の出場権を得た。空手道では本田君が個人形で優勝、武中君が個人形で優勝して全国大会出場を決めた。水泳では200mで原君が優勝、福富君

は5位に入り九州大会の出場権を得た。また原君は1

00mの自由形で準優勝、今村君は200m個人メドレーで5位となり、それぞれ九州大会の出場権を得た。

また射撃ではビームライフ

男女、空手男女が3位に入りました。個

射撃など、多くの選手が准優勝を取めた。

午後、筑西学院高校へと向かつた我々は空手を取りました。男子、女子ともに圧倒的優勝でした。

今村君は200m個人メドレーで5位となり、それぞれ九州大会の出場権を得た。

また、個人組手も行われ、会行きを決めている。

佐世保北高は準優勝を取めた。

午後

